

予防保全、各種点検・検査業務

定期的な点検・検査でトラブルを未然に防止！

グラスライニング機器は

- 1 内容液やスラリーによる腐食や摩耗
- 2 冷却水等による外套内腐食
- 3 ご使用時の温度と圧力変化の繰り返し

等の非常に厳しい環境下にさらされています。

弊社ではグラスライニング機器の点検、検査業務を承っております。
定期的な点検、検査により、生産を中断することなく、末永くご使用ください。

【グラスライニング面の目視、電圧検査】

グラスライニング面点検の基本は目視検査です。
専門の検査員の目により、厳しくチェックします。

グラスライニング面の腐食が進み、表面がザラザラの状態にまでなってしまうと目視検査では細部までチェックすることは難しくなるので、電圧検査を行います。

現地電圧検査の検査電圧はDC5～7KVです。ガラスの厚みを測定した上で最適な電圧を決定します。



PPGガラスの缶内は明るく点検も容易です

【グラス厚みの測定検査】

腐食等によりガラスは減肉していきます。
安心して使用するために、定期的にグラス厚測定検査を実施してください。

電磁式膜圧計を使用し、缶内で測定ポイントを決めてグラス厚を測定します。

測定値は缶体を展開して書式で報告します。
経時記録で継続監視してください。



【グラスライニング母材、外套の板厚測定】

外套付きグラスライニング機器をご使用の場合外套内部の腐食によりグラスライニング母材の外側、および外套の内側が減肉していきます。

事故防止の観点から定期的な測定検査を実施してください。

測定値は缶体を展開して書式で報告します。
経時記録で継続監視してください。



グラス面点検記録表		株式会社 神鋼環境ソリューション	
貴社名	点検年月日	年	月 日
貴工場名	点検者	担当	承認
貴社機器番号	弊社製作番号		
型式 ICW 2.0 m ³ JOW m ³ PCW m ³ POW m ³ HW m ³ その他			
<p>・印ガラス厚ミ測定位置 単位: mm 電圧: KV 目視</p>			
<p>特記事項</p> <p>本体上鏡に内容物が付着見える範囲では異常ありませんでした。 ①攪拌翼先端チップング多数有り。現状では異常ありませんが要観察とします。</p>			

報告書例

【高速全面 UT 検査】

弊社では旭エンジニアリング株式会社と提携し、グラスライニング機器の保全、保守のために高速全面UT検査技術を採用しています。

この技術により、容器全体を高速検査し、腐食損傷状態を精細に定量把握できます。

最新の解析、評価技術を使って、最適な補修方法を提案いたします。



外套用フランジの腐食状況

